

ちょうふ環境にゆ〜す



未来へつなぐ調布の環境

2009年11月
第2号

刊行物登録番号
2009-140

●発行：調布市環境部環境政策課

●連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550

メールアドレス：kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ左下からリンクしています）。



今夏、市施設で壁面緑化（緑のカーテン）を実施しました

実施場所

①市役所

今年は庁舎南側のほかに西側でも実施することにより、京王相模原線車内から見る事ができ、多くの方へPRすることで普及活動に努めました。



市庁舎西側

②佐須児童館

- ③東部公民館
- ④緑ヶ丘小学校
- ⑤国領小学校
- ⑥布田小学校
- ⑦第七中学校



佐須児童館

温度測定結果～温度差はマイナス4度～

測定日時／平成21年8月12日午後2時

場所／市役所南側及び西側

結果／グリーンカーテンの内側の外気温と外側の外気温を比べ、平均約4度低いという結果が出ました。

来年は、皆さんもぜひ実施して気持ち良い夏をすごしてみましよう。

ゴーヤの実は社会福祉施設に寄贈しました

市庁舎で収穫したゴーヤの実は、障害者自立支援に役立ててもらうため、調布市福祉作業所連絡会を通じ、「社会福祉施設 クッキングハウス」様に寄贈させていただきました。

定食やゴーヤケーキなどにご利用いただきました。

地球温暖化講演会を実施しました

10月18日、文化会館たづくり8階映像シアターで環境学習公開講座「地球温暖化講演会」を実施しました。

市では、今年度、市民・事業者・学識経験者及び行政職員で構成する検討委員会を設置し、市における地球温暖化対策を計画しています。この検討委員の一人である中岡章氏が、講師として地球温暖化についての講演を行いました。講演では、地球温暖化の一般的な内容や、日々の暮らしから排出されるCO₂の換算方法などについて分かりやすく紹介され、40人の来場者が自分たちが地球温暖化防止のためにできることを学びました。



講演会で紹介された環境家計簿

この講演会で、講師である中岡章氏が電力中央研究所で開発に携わった環境家計簿「エコット」が紹介されま

した。このエコットは、ガスや電気など直接的に測定できるエネルギー量だけでなく、衣食住をはじめとする暮らしで使うモノができるまでに使われた間接エネルギーも測定できるようになっています。そのため、エコットでは、お財布に優しく、地球にも優しい暮らしが見えてきます。基本的にはこれまでの家計簿と同じようにつけ、エコットで決められている排出係数を掛けて排出量を算定します。

講師紹介：中岡 章氏

調布市環境保全審議会委員、財団法人電力中央研究所研究顧問、法政大学デザイン工学部「環境とエネルギー」兼任講師、元中央教育審議会 初等中等教育分科会生活・総合的な学習部会専門委員

1997年よりエネルギー・環境問題に関する社会啓発と学校教育に力を注ぎ、全国各地で講演会や学校等でのエネルギー環境授業を実施（1947年東京出身）。



雑木林塾が開塾

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹林の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。今年度は、8月に塾生を募集し25人のお申込みをいただきました。この雑木林塾は、今年度からちょうふ環境市民会議が企画・運営しています。

第1回～ガイダンス・雑木林の歴史と現状～

9月23日に今年度の雑木林塾が開塾し、第1回目の学習を行いました。午前中は講義形式で調布の雑木林の特徴や成り立ちなどを学び、午後には、佐須地域～深大寺南町地域（深大寺自然広場）を歩き、実際に調布の雑木林を見学しました。



第2回～雑木林の作業に必要な安全管理と技術～

10月25日の第2回では雑木林の作業に必要な安全管理や技術を学びました。

午前中は講義形式で、安全面の注意などを学び、午後は深大寺自然広場（通称かに山）で、倒木をのこぎりで切る作業や鎌で下草を刈る作業を実施しました。



調布の子どもたちが環境学習中

第3回～多摩川下流干潟の生きもの観察～

9月26日実施の今年度3回目のイベントでは、小学1～6年生の会員や保護者ら36人とサポーター5人が、多摩川の最下流となる川崎市大師河原を訪れ、干潟環境の観察や干潟の生きもの観察を行いました。

観察会では、現地の大師河原干潟館の講師による指導のもと、潮がひいた後の干潟やヨシ原を散策し、カニなどの干潟の生きものを観察し、同じ



～調布こどもエコクラブ～

多摩川でも場所によって生息している生きものが違うことを実感していました。

第4回～エコ見学ツアー～

10月17日の第4回目では、小学1～6年生の会員や保護者ら33人とサポーター3人が、横浜市にある東京ガス環境エネルギー館を訪れ、展示施設の見学や体験コーナーでの体験などを通じ、身近な環境問題について学習しました。



実践していますか エコドライブ ～エコドライブ10のすすめ～

エコドライブとは、ちょっとの心掛けでだれにでもできる運転を実践することで、地球に優しい省エネ、燃費アップにつなげようという運転方法です。CO₂に代表される温室効果ガスが地球温暖化を助長していることは、様々な調査から明らかとなっており、1年間に排出されるCO₂の約20%は車によるものとされています。

エコドライブを実践すると、燃費がよくなり、燃料代がお得だけでなく車に優しい運転であるため、車自体が長持ちします。また、NO_x(窒素酸化物)等の大気汚染物質の排出量も減り、私たちの身近な生活環境も改善されます。

運転マナーにご配慮ください

エコドライブとは話が少しずれますが、ハイブリッド車、電気自動車は、低燃費、低騒音で大気汚染物質の排出が少なく環境に優しいことから、その普及が進んでいます。ドライバーの皆さんは、その特徴「走行中の低騒音」を再度ご認識頂き、歩行者、特に高齢者、子ども、視覚障害者の方々に配慮した運転を心掛けてください。

現在、国土交通省では、ハイブリッド車、電気自動車の静音性についての対策をハイブリッド車等の静音性に関する対策検討委員会で検討中です。詳細は、国土交通省ホームページ (http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk7_000002.html) などでご確認ください。

エコドライブ10のすすめ

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」**
「やさしい発進を心がけましょう。」
- 2 加減速の少ない運転**
「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」
- 3 早めのアクセルオフ**
「エンジンプレーキを積極的に使いましょう。」
- 4 エアコンの使用を控えめに**
「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」
- 5 アイドリングストップ**
「無用なアイドリングをやめましょう。」
- 6 暖気運転は適切に**
「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」
- 7 道路交通情報の活用**
「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。」
- 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック**
「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。」
- 9 不要な荷物は積まずに走行**
「不要な荷物を積まないようにしましょう。」
- 10 駐車場所に注意**
「渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。」

エコドライブ講習会（座学）に参加しませんか

この機会に、地球にも家計にも優しいエコドライブの方法を学んでみませんか。



日時／11月27日（金）

午後6時30分～8時30分

会場／文化会館たづくり8階映像シアター

講師／財団法人省エネルギーセンター職員

参加費／無料 定員／当日先着80人

申込み／当日直接会場へ

調布水辺の楽校「アドベンチャー in 多摩川2009」が行われました

8月16日に、今年度第2回目となる調布水辺の楽校のイベントが開催されました。参加したのは、44組88人の小学校4年生の児童とその保護者で、多摩川原橋近くの下流で「川流れ」体験をしました。その後子どもたちは、対岸（川崎側）に大人が引くゴムボートで渡りました。

今回の川に入っただけの体験は、参加親子とも初めての

方が多く、夏の青空に歓声が響き渡りました。

また当日は、対岸の川崎側の子もたちとの交流もあり参加者にとっては思い出に残る一日となりました。



第2回「喫煙マナーポスター・標語」入賞作品を展示しました

8～9月、「たばこについてのめいわく」をテーマにポスター・標語を募集しました。ポスターについては、子どもたちの目から見た大人のマナーについて市内在住・在学の小・中学生を対象に募集し、79の作品が寄せられました。

9月5日～9日に、文化会館たづくり11階みんなの広場で作品展を実施し全作品を展示しました。また、来場者には、どの作品がよかったかを投票いただき、入賞作品と特別賞作品を決定しました。その中からポスターや啓発品に使用するデザインを選び、11月上旬の喫煙マナーアップキャンペーンで広く配布させていただきます。

また、今年度から総合福祉センターの「ウィンドウ美術館」で、票の多かったポスター20数作品と標語10作品を10月31日まで展示しました。



布田小学校で春の花を校庭花壇に植えました

11月5日、市立布田小学校で春の苗の植栽が行われました。

当日はお昼休みの時間を利用して、同校の「ガーデニング委員会」(5・6年生13人で構成)の子どもたちが、校庭脇にある下段にパンジーやビオラなどの苗を植栽しました。このほかにも、前シーズンが終わり土から掘りおこしたチューリップやスイセンの球根、さらに保護者から提供があった花の種も植えました。また、お楽しみとして野菜の種も蒔きました。

子どもたちが植えた花はこれから来る寒い冬を越して、来年の春にはきれいな花を咲かせ、花いっぱい入学式が新一年生を迎えてくれることでしょう。

今回植栽した苗は、(財)花と緑の農芸財団が実施する「花の輪運動」として、校内環境の向上と花と緑を大切に育てる気持ちを大事にして欲しいとの思いにより同財団から提供されたものです。この「花の輪運動」は、平成3年から実施されていて、全国のミニストップ店舗で寄せられた募金と同社からの寄付金などをもとに運営されています。今年は、全国850校に苗を送りました。布田小学校に届いた苗は合計288株で、これらの苗は校庭花壇のほか、ロータリーの花壇など校内各所に植栽されています。



身近な調布の自然を教えてください ～写真募集～

水と緑が豊かな我がまち調布には、まだまだ自然の風景が多く残されています。皆さんも、散歩などで街中に残るふとした身近な自然の風景を発見したら、写真に収めて環境政策課まで送信してください。送っていただいた写真は、次号以降または市ホームページで紹介させていただきます。

内容／街中で発見した自然（河原でくつろぐ野鳥、あまり見かけない野草など、私有地以外で発見した身近な自然）
応募／写真の題名、撮影場所、撮影日時、100字程度の写真の説明、撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号をA4の用紙に明記して〒182-8511市役所8階環境政策課へ郵送またはご持参ください
※デジカメ写真で、メール送信する場合は、ファイルサイズを500KB以下に圧縮したうえで、Eメールに写真を添付

し、メール題名を「調布の身近な自然」とし、メール本文には写真のタイトル、撮影場所、撮影日時、100字程度の写真の説明、撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号を明記して環境政策課 kankyoku@w2.city.chofu.tokyo.jp へ送信してください
その他／すべての写真を紹介できない場合もありますのでご了承ください

このニュース誌の感想やご意見がありましたら、お気軽に環境政策課へお寄せください。